

■大学生という市民■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 093 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

093 目次

1. トピックス： 大学生という市民
2. お知らせ：法人ごっこ 第 2 回
3. まつむら塾
4. 今後の予定：今週・来週以降
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/category/p9/>

.....

1. トピックス： 大学生という市民

昨年の夏、毎年僕が審査員を務める東京都の「チャレンジアシストプログラム」という助成事業で知り合った H 君が笑恵館に僕を訪ねてくれたことがきっかけで、地元の日大商学部の友人たちが笑恵館でたむろするようになった。

彼らはとても気さくで人懐っこく、笑恵館だけでなく近隣のおおがいさんちやさくまさんちのイベントにも参加して、地域住民とも積極的に交流するようになった。

やがて彼らが日大商学部でマーケティングを学んでいることが知られるところとなり、近所の方たちから web ページの製作や家庭教師など細かいアルバイトを頼まれるようになった。

そこで僕は、今年 3 年生として就活に挑みながら進路を決めていく彼らに対し、何か大学とは違うアドバイスや提案ができないものかと考え、「法人ごっこ」を開始した。

「法人ごっこ」は、メンバーたちが自分自身で提供できる商品を持ち寄り、笑恵館のある砧エリアで実際に販売するプロジェクト。

当初「会社ごっこ」を思いついたが、「法人ごっこ」と命名したのは 2 つの理由がある。

1 つは、例によってググってみた結果「会社ごっこ」はすでに大勢に使われていること。

そしてもう一つは、「会社」という言葉が「営利目的」を連想させること。

ビジネスを担うのは、会社のような営利組織だけでなく、NPO などの非営利組織や自治体などの行政組織など

様々だ。

これから進路を考える彼らには、「営利－非営利」の枠を超えて自由な発想をしてもらいたいと考えた。

2月2日に開催した第1回目は、ガイダンスということで「営利－非営利」について次のような話をした。

営利とは「利益を目的とすること」だが、多くの人がこの「利益」について間違っただけの理解をしている。

利益とは、会計上「剰余金」と呼び、余ったお金のことを意味している。

収入から、仕入れ・報酬・経費など必要な支出を差し引いた余りを利益といい、余らずに不足すれば損失となる。

この利益や損失は、一体誰のものなのか…それは「所有者のもの」となる。

株式会社の所有者は株主なので、利益はすべて株主のものとなり、その処分についてはすべて株主総会で決定される。

株主が利益をすべて配当せず「内部留保」と言われる貯金をするのは、あくまで損失が出た時の配当に備えるためであり、経営者のへそくりではない。

最近よく、「大企業は膨大な内部留保を社員に還元すべき」という声が聞かれるが、それは経営者でなく株主が決めることだ。

一方、非営利とは「利益をすべて事業に再投資すること」だが、こちらも多くの人判っていない。

非営利型の法人には、社団・財団法人、NPO法人の他自治体などの公共団体があるが、いずれもその所有者が利益の配分を求めず、全てを事業のために使うことを求めている。

「営利と非営利」はまるで反対の概念だ。

「営利」は儲かったり得をしたり、楽をすることを求めているのに対し、「非営利」は役立ったり広がったり、継続することを求めている。

だが我々にとってこの2つは、どちらも欠かせない。

幾ら儲かっても続かなければ困ってしまうし、いくら続いても儲からなければうれしくない。

そこで僕は、世界がこの双方で成り立っていることを「法人ごっこ」で伝えたいと思う。

それは、「利益を相手に提供し、自分は必要な報酬を得る」という考え方だ。

営利法人においては株主に利益を提供(配当)することで自分が報酬を得る、非営利法人においては社会に対して利益を提供(投資)することで自分が報酬を得る、それが経営者の役割だ。

つまり、「営利と非営利の違い」は、相手の投資に応じて利益を生むか、生み出した利益を自ら投資するかの違いだと言えるのではないだろうか。

「法人ごっこ」は、大学生主体で始まった市民の起業プロジェクトだ。

大学生たちが、大学の周辺地域の市民と関わりを持ち、現実社会の仕組みを学ぶ取り組みは各所で行われている。だが、それが学校教育の延長として教員の指導の下に行われるのでは、社会科見学の域を出ないのではないだろうか。

もちろんそれは、大学側の問題ではなく、こうした学生を市民として受け入れる仕組みを持たない地域社会の側にある。

大学に地域社会を活用してもらおうのでなく、地域社会が大学を活用するというスタンスで僕はこのプロジェクトに臨みたい。

そしてこのプロジェクトが、大学の仕組みをフルに活用し、サークル活動のように後輩たちに引き継がれる継続事業になればと願っている。

.....

2. お知らせ：法人ごっこ 第2回

法人ごっこは、参加者が仮想会社を作り、自分で考えた商品を実際に販売する実践型起業プログラムです。笑恵館に集う地域コミュニティの方たちに直接営業し、生のマーケティングを行いながら、並行してWEB戦略を構築します。

N大学商学部でマーケティングを学ぶ学生たちと企画を進めるうちに、せっかくなので一般参加者も募集することにいたしました。

奮ってご参加ください。

法人ごっこ 第2回 販売戦略会議

日時：2/9(木)10-12時

場所：笑恵館 世田谷区砧 6-27-19

会費：3,000円

講師：松村拓也 起業支援活動家

主催：株式会社なのに・まつむら塾

なお、初回参加者の皆さんは、自分の商品とその価格をあらかじめ考えてA4ペーパーに出力して持参ください。商品は、いくつあっても構いません。

イベントページはこちら

<https://www.facebook.com/events/1660497010913638/>

その他、ご不明な点があれば、何なりとご質問ください。

問合せ先 メール：takuya@nanoni.co.jp 携帯：090-9830-3669 松村まで

.....

3. まつむら塾

■開催予定 講義+演習

・2月の日程 2/9,23 (第2,4木金曜日) 19-21時 笑恵館

・その他会場募集

まつむら塾を開催させていただきる会場を募集しています。会場提供者は、受講料免除といたします。

■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

・新着記事 A1.理屈編 3.人間について 1.what：能動と受動

http://nanoni.co.jp/juku/a13_1/

■オンラインまつむら塾：まつむら塾の演習をオンラインで体験できます。

- ・事業目的の作り方(公開中)

<https://synapse.am/contents/monthly/m-juku01>

現在 : RAM 会員 3 名、ROM 会員 0 名 (定員 30 名)

- ・倒産覚悟の経営のススメ(公開中)

<https://synapse.am/contents/monthly/matsumuratakuya>

現在 : 会員 8 名 (定員 30 名)

.....

4. 今後の予定 : 今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎 : 来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎 : あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能 : 僕の訪問先にお連れします。

★参加可能 : あなたも参加可能なイベント。

.....

(月) 2/06 ○自宅作業日

(火) 2/07 ○午後から笑恵館で面談可

(水) 2/08 ○自宅作業日

(木) 2/09 ○終日笑恵館で面談可

10-12 時 ★法人ごっこ 第 2 回 (笑恵館)

<https://www.facebook.com/events/244273589349956/>

18-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館)

(金) 2/10 ○午後から笑恵館で面談可

19-21 時 ★名栗の森・高円寺の会

(土) 2/11 ○休業日

(日) 2/12 ○作業日

2/12 10-15 時 ★さくまさんち 日曜カフェ

<https://www.facebook.com/events/1412892172075189/>

■その後のイベント

2/14 15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議

2/14 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議

2/16 19-21 時 ★LR オーナーズクラブ

2/17 19-21 時 ★第 15 回 解決しゃべり会(笑恵館)

2/21 16-18 時 ★笑恵館を学ぼう

2/21 18-20 時 ★笑恵館・持ち寄り食事会

2/23 18-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館)

2/25 15-17 時 ★砧むらマップカフェ(OBK)

2/26 10-15 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ

2/28 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>